



携して認知度を広めた。観光振興は地域の魅力情報発信や、住民・観光客の交流拠点づくりとして移動可能な屋台カフェの準備を行っている。来年度以降もトップダウンで指示は行わず協力隊に任せよう考えている。

問 漁業振興、農業に関しては3年後に事業化できる見通しは。また6名での連携活動は。

町長 3年後に事業化できれば大変うれしい。基本的には3年後も町に残って継続できるよう協力していく。6名での活動連携に関しては早い段階で行っていききたいと考えている。

問 「エコリゾートタウン」の継続は。

町長 4700万円以上かかり、とても無理である。

問 故障の修理は。

町長 4700万円以上かかり、とても無理である。



藤井 廣明 議員

町営風力発電の今後は？ 答 民営化を考えている

風力発電について

問 町営風車は赤字が予想される。現在の運営状況は。

町長 昨年からの3号機は基幹的な故障により停止、2機で運営している。

問 故障の修理は。

町長 4700万円以上かかり、とても無理である。

問 「エコリゾートタウン」の継続は。

町長 4700万円以上かかり、とても無理である。

問 故障の修理は。

町長 4700万円以上かかり、とても無理である。

町長 これまで通り風力発電をシンボルに、住宅太陽光発電への補助などCO2削減に取り組んで行く。

問 今後の見通し及び方針については。

町長 風況によって収益が左右され、町財政の負担になる可能性がある中で、民営への道を探っていく。

問 撤去費用となる風車の基金はどの位あるか。

町長 平成29年度になって基金残高はゼロである。

問 建設時の借金の償還金はまだ2年残っているが、見通しが甘かったのでは。

町長 当時は議員で、計画は夢のような話に思え



2基のみの稼働となった町営の風車

風力発電は大丈夫？



笠井 政明 議員

スクールバスの大川、北川地区以外への運航予定は

答 大川、北川地区以外への運航拡大については、現段階考えていない

大川、北川地区以外への運航予定は。

町長 国の基準をおおむね目安とし、通学路の安全の状況や地理的な条件を考慮して行っている。大川、北川地区以外への運航拡大については、現段階では考えていない。

問 統合後の幼稚園・小学校・中学校の中長期ビジョンはどのようなになっているか。

町長 学校環境整備委員会より最終答申を受け、中学校統合、小中一貫教育の整備を本年度中の方向性決定を目指していく。なお、10年後を見据えて行っていくが、なるべく早めに対応できるようにしていく。

問 スクールバスについて

町長 大川公民館前始発から二度山商店前、北川バス停にて乗車させ熱川小学校プール前駐車場を到着と考えている。便数は登校時1便、下校時2便の予定。



熱川幼稚園で運行している園バス

問 大川、北川地区の中学生への通学補助は。

町長 今回の統合を機会に通学補助を行っていくことを考える。

後援・協力イベントについて

問 今年度もイベント等に職員がスタッフとして参加しているが現在までの延べ人数は。

町長 レインボーデイスコクラブ、キンメモラソン等に延べ83名の職員が協力した。

問 後援、協力の判断基準は。

町長 「東伊豆町後援等に関する要綱」に基づき、後援名義等の使用を許可している。

問 町長が必要と認めた場合の物的・財政的・人的援助を行う判断基準は。

町長 興業的イベントであっても情報発信力や町の活性化につながるものであれば人的・物的支援をする。基本的には財政的支援は行わない。

問 後援・支援を行ったものに関して後援内容、実際に行なった支援内容の開示を行う予定は。

町長 情報開示は今後行っていきたいと考える。

地域おこし協力隊について

問 昨年度に引き続き本年度も募集をしたが具体的な活動内容は。

町長 本年度は漁業振興・実践農業研修・観光振興で3名採用した。漁業振興は天草漁の支援及び漁業振興、農業はハウスマン農家の下で実践作業、観光振興は地域の魅力・情報発信等を行う。

問 昨年度3名の活動実績、本年度の活動内容、来年度の取り組みは。

町長 農業に関しては移住農業者の先駆者として地域農業関係者との交流、情報収集や、子供たちに田植え体験を行うなどのイベントを行った。空き家対策はダイロクキッチンでの様々なイベント開催や認知症カフェ、稲取高校被服食物部などと連

するまで停止していると報告を受けた。